

(要旨)

【金沢市の DX 取組状況・戦略 2.0 について】

- ・行政 DX と地域社会 DX とのインターフェースを強化すべき（特に SNS での情報発信）
- ・情報発信について、変化の様子や取り組みの詳細まで見えるようにすべき
- ・メタバースについて、環境を作るのではなく、既にある環境に市がアイテムを提供するべき
- ・テレワークの推進には、職員の意見や要望を取り入れるべき
- ・オンライン化された手続きについて、集めたデータの利活用を検討すべき
- ・都市 OS や Web3.0 をデジタル戦略に盛り込んではどうか
- ・行政 DX を地域社会に浸透させるには、間を取り持つ方のデジタルリテラシー向上に取り組むべき
- ・RPA 等により削減した時間について、それをどのように生かしたかまで、見える化してはどうか

【次期計画の策定について】

- ・ミッション/ビジョン/バリューには金沢市独自のものを入れるべき。
- ・金沢の特徴である「地域」（コミュニティ）を重点分野に入れてはどうか。
- ・ミッション/ビジョン/バリューの上位にパーパス（存在意義）を定めるべき。
- ・「データを整備すること」を入れてはどうか。その際は表現をわかりやすいものにするべき。
- ・計画の対象（ターゲット）を明確にすべき。
- ・「確実にアクションすること」を示してはどうか。
- ・「学」を中心とした産学官連携をコアバリューにしてはどうか。
- ・市民の「Well-being」を高めることを示してはどうか。